

インクルーシブの窓



令和8年3月 富山県教育委員会 教育みらい室 特別支援教育課

すべての子供が共に学ぶ交流及び共同学習を進めましょう！



2月20日（金）に、文部科学省委託事業である「令和7年度インクルーシブな学校運営モデル事業中間成果報告会」が開催されました。この事業は、小中高等学校のいずれかと特別支援学校を一体的に運営し、障害のある児童生徒と障害のない児童生徒が交流及び共同学習を発展的に進め、実証的な研究を行うものです。

文科省による事業説明の後、モデル地域である13団体の取組状況や成果等がオンラインで報告されました。そして、報告を受けて、菊地一文氏（弘前大学大学院教授）による講演があり、同氏は「交流及び共同学習を推進するためのポイント」を5点挙げられ、子供への肯定的かつ柔軟な見方・対応と、教職員による日常的な雑談的対話の大切さにふれられました。

さて、皆さんの小中学校では、今年度の校内における交流及び共同学習の成果を振り返り、新年度の取組の計画を立てておられることと思います。

今後も、障害のある子供と障害のない子供の双方の視点に立った学びの環境をつくっていきましょう。参考になることを願って、県内の小中学校の先生方の取組の工夫例を紹介いたします。

